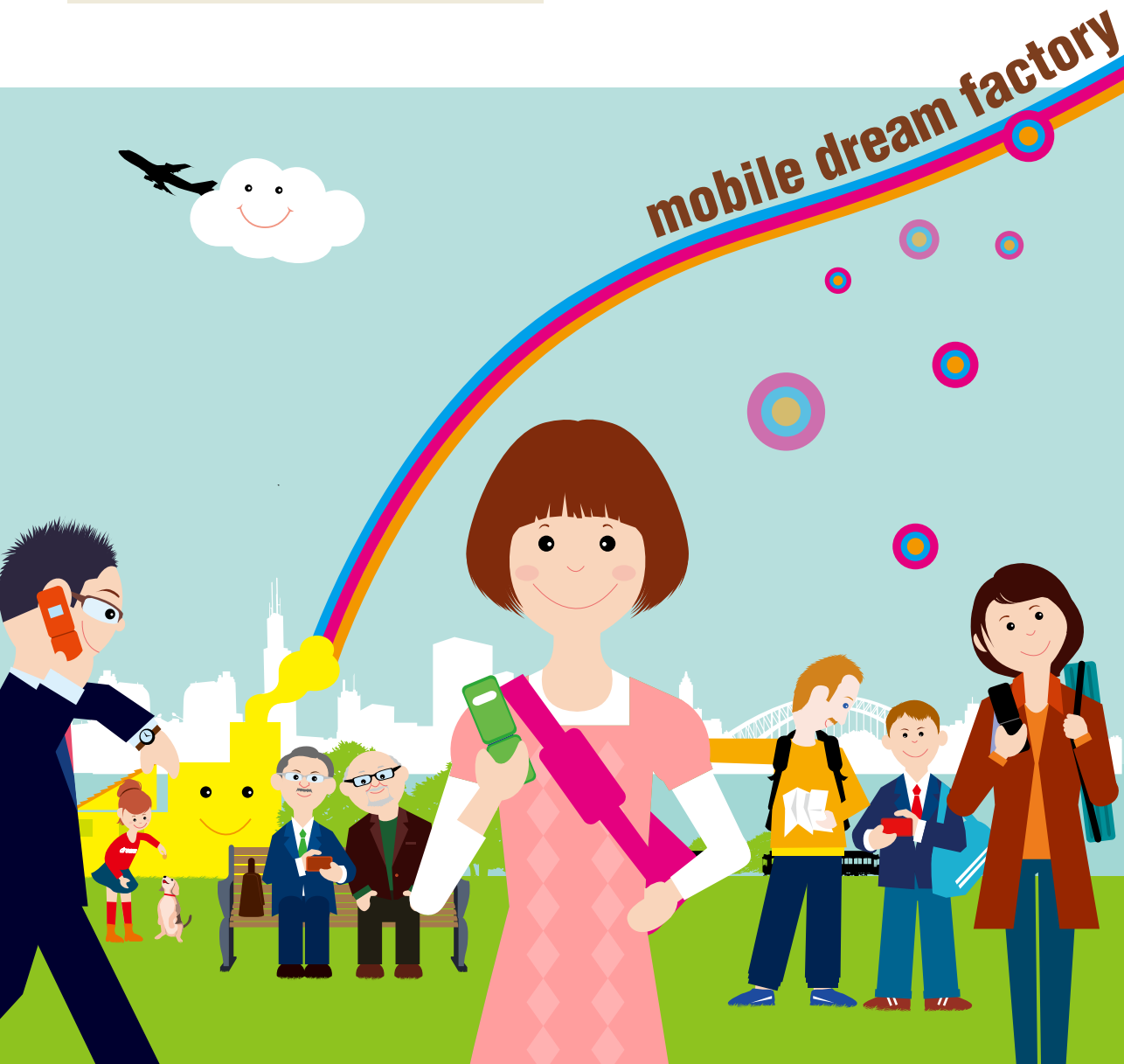


株 主 の 皆 さ ま へ



Financial Highlight

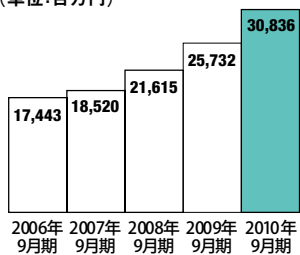
2010年9月期 ハイライト

➡ 売上高、営業利益、経常利益、当期純利益はいずれも前年に引き続き過去最高を更新

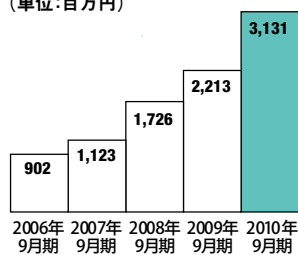
➡ 有料会員数は938万人まで拡大

➡ 期末配当金は5期連続増配

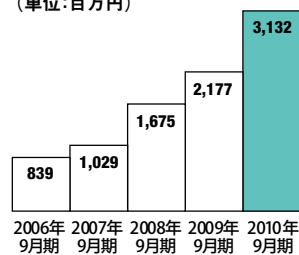
売上高
(単位:百万円)



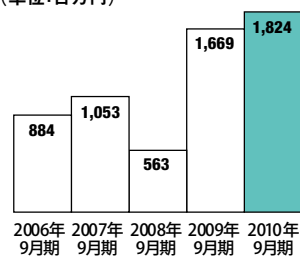
営業利益
(単位:百万円)



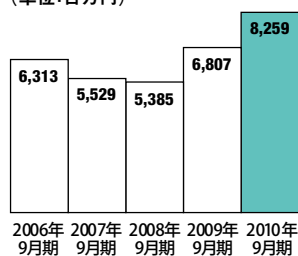
経常利益
(単位:百万円)



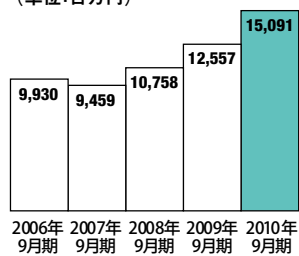
当期純利益
(単位:百万円)



純資産
(単位:百万円)



総資産
(単位:百万円)



株主の皆さまへ

株主の皆さまには、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
2010年9月期 報告書をお届けするにあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

当期は、成長が期待できる健康情報を中心に、費用対効果の高い分野へプロモーションを投入しました。この結果、2010年9月末の有料会員数は前期末から136万人増加となる938万人まで拡大し、当期の連結業績は以下のとおりとなりました。

売上高	308億36百万円	6期連続過去最高
営業利益	31億31百万円	5期連続過去最高
経常利益	31億32百万円	5期連続過去最高
当期純利益	18億24百万円	2期連続過去最高

期末配当金については、上記の連結業績を勘案し、1株につき1,500円増配し、3,500円とさせていただきます。

今後も下記のミッション、ビジョンのもと、より多くのお客さまに支持されるサービスの提供を通じて、持続的な成長と拡大を目指してまいります。

- > {ミッション} 未来の携帯端末がもたらす未来社会の実現に貢献する
- > {ビジョン} お客さまの「一生のとも」となるサービスを提供し続け、お客さまの夢をどんどん創り出す『モバイル夢工場』となる

なお一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2010年12月

代表取締役社長

前多 俊宏



➡ コンテンツ配信事業 ～有料会員数は938万人まで拡大～

音楽系サイトでは、人気アーティストの楽曲獲得や、テレビCMなどのプロモーション展開により、音楽サイト全体で有料会員数を維持することができました。

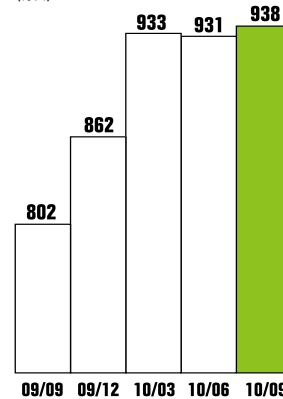
健康情報サイトでは、テレビCMを中心とする積極的なプロモーション展開を実施しました。新機能の追加などお客さまのニーズを反映したサービス拡充にも取り組み、有料会員数は好調に拡大しました。

気象情報サイトでは、効果的なプロモーション展開による有料会員数の拡大を図りました。さらに、プレミアム会員サービスをスタートし、顧客単価の向上にも取り組みました。

デコレーションメールでは、最大需要期である年末年始に人気アーティストを起用したテレビCMや、モバイル広告などのプロモーションを積極的に展開しました。絵文字サイトの拡大も寄与し、有料会員数を拡大することができました。

この結果、デコレーションおよび気象情報の有料会員数は100万人規模のサイトに成長し、2010年9月末の有料会員数は年間で136万人増加となる938万人まで拡大しました。

有料会員数の推移
(万人)

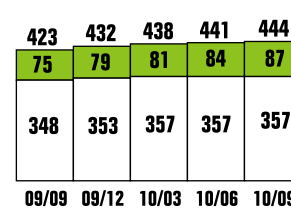


➡ 自社メディア型広告事業 ～登録会員の活性化に取り組む～

自社メディア型広告事業では、プロモーションの先行投資費用による赤字額を最小限にコントロールしながら、サイト内でのイベント企画やゲームの投入などを通じて、登録会員の活性化に取り組みました。

2010年9月末の登録会員数は444万人となり、年間で21万人の増加となりました。

登録会員数の推移
(万人) ロデオとも ■ ログとも



➡ スマートフォンへの対応

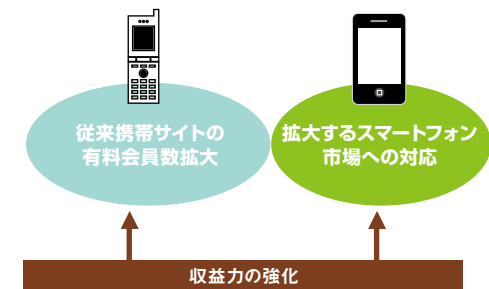
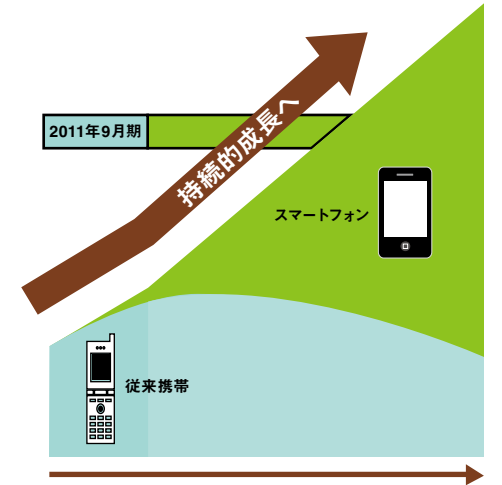
現在は従来の携帯電話の利用者が大半ですが、今後数年のうちにスマートフォンへの移行が進むと見込まれ、モバイル・コンテンツを取り巻く環境は大きな変化が予測されます。

当社は持続的成長の実現に向けて、この変化にいち早く対応していきます。スマートフォンへの買い替えにより、お客さまはもう一度個々のニーズに適合したモバイルサービスを選ぶため、当社のサービスをより多くのお客さまに提供する絶好の機会と捉えています。また、国内だけでなく、海外市場への可能性も大きく広がります。スマートフォンへの移行は当社にとって大きなチャンスであり、スマートフォン向けサービスに注力していきます。

➡ 短期的には既存事業の拡大も可能

スマートフォンへの移行は進むものの、短期的には従来の携帯電話でのサービスも生活情報系を中心に拡大可能と考えています。このため、引き続き効果的なプロモーション展開により、既存コンテンツの拡大に取り組みます。

さらに、既存事業の収益力の強化にも取り組みます。現在有望な分野への投資に加えて、スマートフォンが本格的拡大を迎える時に積極的な投資が実現できるよう体力強化を図っていきます。



スマートフォンに対する エムティーアイの取り組み

スマートフォンとは？

スマートフォンは高性能携帯端末といわれ、電話やメール機能はもちろん、パソコンでみるインターネットサイトがこれまでの携帯電話と比べて飛躍的に利用しやすくなりました。携帯電話の持ち運びやすさはそのままに、より多くの情報に容易にアクセスすることができます。また、音楽プレーヤーやゲームなどアプリと呼ばれる便利なソフトをインストールして、自分の使い方や好みにあわせた機能を追加できるのもこれまでの携帯電話との大きな違いです。



スマートフォンでコンテンツ・サービスはどう変わる？ これまでにできなかったサービスが可能に

これまでの携帯サイトはアプリでなくサイトの文化でした。携帯サイトは小さい画面と、数字ボタンを押すという限られた動作でしたが、スマートフォンでは大きな画面に加え、指で直接画面に触れて操作するタッチパネルの動作となったため、使い勝手がよく、今までにないおもしろい動きも可能です。これまで楽曲のみを販売していた「music.jp®」でも、購入した曲を聴けたり、曲に合わせて歌詞が見られたりするプレーヤーアプリを同時に提供するなど携帯サイトではできなかったサービスを提供できるようになったことは大きな変化です。

また、すぐにインターネットサイトにアクセスでき、よりリアルタイムに情報を得られるようになったことで、携帯端末の生活への密着度がこれまで以上に高まります。スマートフォンの登場により、エンターテインメント、生活情報、コミュニケーションなどあらゆる分野でさらに楽しく便利な新しいサービスの可能性が広がっています。

用語解説

アプリ (アプリケーション)

OSを土台に、特定の機能を付加するプログラム。パソコン、携帯電話やスマートフォンで動作するソフトのこと。

インストール

アプリケーションを導入・設定して実際に使用できるようにすること。

iPhone (アイフォーン)

米国 アップル社製のスマートフォンの名称のこと。

voice スマートフォンサービスの 拡大は当社にとって新たなチャンス

執行役員 music.jp事業本部 クロス・プラットフォーム事業部長 立石優子

当社は従来の携帯電話で1,000万人近い有料会員を抱えています。まずはこのお客さまがスマートフォンに変えても当社のサービスを継続してご利用いただける環境整備に取り組んでいます。同時に、スマートフォンならではのサービスもお届けしたいと考えています。

スマートフォンではこれまでの携帯電話では実現できなかったサービスが実現できます。従来の携帯サイトは国内に限定したサービスですが、スマートフォンでは世界市場に向けた環境が用意され、当社も容易に世界に出られるようになります。その一方で、海外企業を含む高いスキルを持つ事業者と競合になり、本当に実力のあるサービスでないと受け入れてもらえないと考えています。スマートフォンへの移行は、お客さまにとってもこれまでの機種変更よりも遥かに大きなインパクトのある変化が起こると思われ、我々もこれまでの携帯電話の考え方を捨てて、新たな市場に臨む必要があります。

しかし、お客さまとゼロから向き合うという姿勢は従来と変わりません。これまでに培ったマーケティング力にもとづくお客さまの声を反映した企画と、品質管理力、開発力を生かし、これらの力をさらに強化することで、現在当社のサービスをご利用いただいているお客さまに加え、新たなお客さまにも使っていただけることが可能な市場と考えています。我々は、この変化をチャンスと捉え、果敢に挑戦していきます。

ルナルナ英語版

10月からはiPhone普及率が最も高い米国で、女性向け健康情報サイト「ルナルナ」の英語版iPhoneアプリの販売を開始しました。

辞書サービス

タッチパネル上に直接調べたい文字などを書くことで簡単に入力できる「手書き認識機能」を備えた辞書アプリを10月にスタートしました。

music.jp 着信音

細かな着信音設定機能が用意されていないスマートフォンでも、従来の携帯電話のようにお気に入りの楽曲を着信音に設定できるアプリを9月にスタートしました。

mopita (モピタ)

スマートフォン向けに独自の会員認証・決済システム「mopita (モピタ)」を開発し、7月より自社サービスに導入しています。コンテンツプロバイダーやスマートフォン向けサービスを手がける企業にも販売を開始しています。

スマートフォン向けサービスも続々スタート



資本政策の基本方針

中長期的な売上高・利益の持続的成長と
株主の皆さまへの利益還元の調和

株主の皆さまへの還元にあたっては、上記の基本方針をもとに積極的な事業展開に備えるための内部留保を勘案し、総還元性向(※)として35%を目安に行っています。

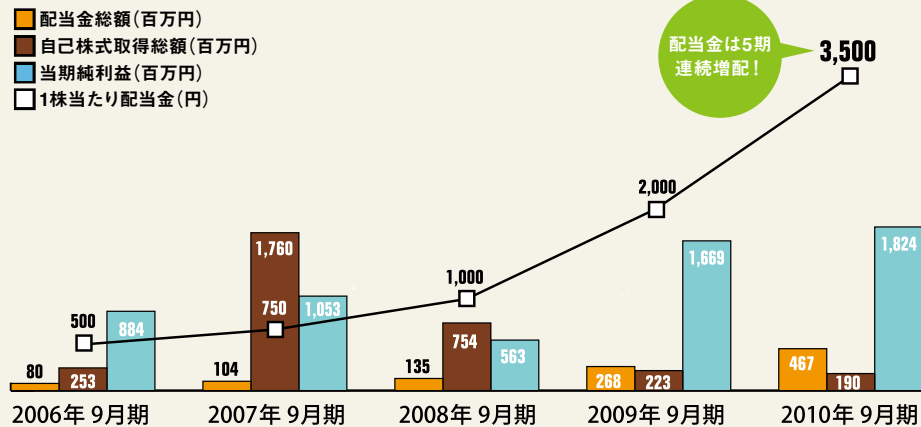
➡ 期末配当金は1,500円増配となる3,500円を実施

2010年9月期の1株当たり期末配当金は、5期連続で営業利益、経常利益ともに過去最高を更新したことや、配当金による還元拡充の観点から1,500円増配となる3,500円としました。また、当期は総額で1億90百万円の自己株式の取得を行いました。

この結果、総還元性向は36.1%となりました。

今後も、売上高と利益の持続的成長を続け、企業価値の創造と拡大を通じて時価総額を向上させていくとともに、安定的に配当金を増加させていくことにより株主の皆さまへの利益配分を継続的に実施していきます。

※ 総還元性向
配当金と自己株式取得の合計額の連結当期純利益に対する比率

CONTENTS
HIGHLIGHT1 女性向け健康情報サイト「ルナルナ」、
圧倒的なポジションを確立

女性向け健康情報サイト「ルナルナ」は、2009年に有料会員数100万人を突破した後も、テレビCMの放映拡大などによりさらに多くのユーザーに認知・利用され、有料会員数は好調に拡大しました。

女性の生理日予測にとどまらず、レコーディングダイエット機能や病気について医師に相談できるコーナーも追加し、生理周期に影響される女性ならではの健康管理機能がますます充実しています。

2 デコレーションメールと
気象情報サイトが有料会員数100万人突破！

有料デコレーションメールサイト「デコとも★DX」と、人気の絵文字サイト「デコとも★えもじDX」など姉妹サイトを含めた有料会員数は、2009年12月に100万人を突破、さらに2010年9月には気象情報サイト「ソラダスお天気予報」も有料会員数が100万人となりました。

ともにお客さまのニーズに対応したサービスの拡充と、プロモーション展開により、音楽、健康情報に続いて100万人規模となるサイトに成長しました。

3 スマートフォン向けサービスを
主力サイトでスタート

2010年7月より、音楽サービス「music.jp」、健康情報サービス「ルナルナ」、気象情報サービス「ソラダスお天気予報」を皮切りに、主力運営サイトにおいてスマートフォン向けサービスを開始しました。普及が進むスマートフォンにいち早く対応し、新たなチャンスを開拓しています。

気象情報サイトが有料会員数 100万人を突破



トップページ

「My天気」で登録すれば気になる地点の天気はトップページで表示されます。

気象情報サイト「ソラダスお天気予報」は、2010年9月に有料会員数が100万人を突破。当社では、音楽、健康情報、デコレーションメールに続く100万人規模の携帯サイトとなりました。

1999年に開始したこのサイトは、全国約850ヶ所の天気を1時間ごとに更新するピンポイントの天気予報のほか、台風・地震などの災害情報、桜の開花や花粉情報、海やスキーなどのレジャー関連情報も網羅しています。通常のメニュー以外に、災害時の安否確認や帰宅支援情報、道路・鉄道情報などをメールで配信する月額315円のプレミアムサービスが好調なほか、2010年7月からはスマートフォンサービスにも対応しています。

天気の移り変わりや雨の状況がピンポイントでわかります。



ピンポイント天気

POINT 1

「いつも持ち歩く携帯電話」ならではの情報

全国約850ヶ所というピンポイント予報の提供や、気象庁からの緊急地震速報や台風情報、警報注意報などの情報だけでなく、常に持ち運ぶ携帯電話というツールの特長を生かし、強風や雪などの気象状況に影響を受ける道路渋滞規制や鉄道運行など即時性が詳細な情報が充実しています。

POINT 2

災害時の危機管理ツールとして

台風、地震などの災害時には、家族や友人に状況を確認するメールが自動的に届く安否確認システムや、自宅までの地図を表示する帰宅支援マップもあり、外出先での危機管理ツールにもなっています。緊急時の情報手段として携帯電話の信頼度を高めています。

POINT 3

携帯端末の新機能にいち早く対応

携帯端末の新機能の登場に合わせて、サイトも絶えずバージョンアップをしています。iモード®サービスでは現在の位置情報を提供するオートGPSという機能にもいち早く対応し、出張先でも瞬時にそのエリアの天気情報を確認することができます。新しく携帯電話に搭載される技術の中でサイトに使える機能があれば、すぐに取り入れています。

100万人を突破した人気の要因は？

A. 携帯電話のいつでもどこでも持ち運べるという利点を生かし、お客さまが今いる地域などの固有の天気情報と、天気以外のさまざまな情報を即座に見られるのが「ソラダスお天気予報」の特長です。テレビでは全国の天気はわかりますが、携帯と違って自分の周辺の天気や1時間後の雨雲の様子はサポートしていません。「ソラダスお天気予報」は単に「気象情報が携帯をみればわかる」ではなく、「お客さまは携帯電話の天気予報にどんな情報を求めているか」という徹底的なリサーチをもとに作られています。災害時にメールで情報発信をするなど、こちらからお客さまに伝えるサービスが非常に充実しており、こういった点が評価されているのだと思います。

メインユーザーはどのような人々でしょうか？

A. 30～40代のビジネスマンや、レジャーで利用する人のほかに、農業や漁業、ダイビングインストラクターなど、天気が影響する仕事に就いている方々にも多く利用されています。台風シーズンになると台風が接近する1週間ほど前から徐々にお客さまの入会が増え、最近では都市部に集中豪雨がかかり発生しているため、ゲリラ豪雨で急に雨が降ってきたときに入会していただくことも増えました。気象情報以外では冬のゲレンデ情報、海釣りやサーフィンなどの海関連情報、桜の開花や花粉情報もよく利用されています。

どのように企画しているのですか？

A. チームは企画担当の4人のほか、運用、開発、プロモーションのメンバーから成ります。定期的実施するユーザーへの調査や問い合わせをもとに、どのようなサービスを提供するかをチーム内で話し合います。メンバーはそれぞれの趣味やレジャーでサイトを使い、お客さまの利用シーンと離れないことを大切にしています。チーム以外からの意見も積極的に取り入れています。私自身、このサイトの企画担当になったから、スノーボードとダイビングを始めました。実際に自分が使う中で、こうした方が使いやすいとか、こういう情報が欲しいという想いをサイトに反映しています。

MS事業本部 天気・ニュース事業部
事業部長代行 小野義典

お客さまにとって本当に必要な情報を徹底追及
Interview

連結貸借対照表 (単位：百万円)

	2010年 9月期 2010年 9月30日現在	2009年 9月期 2009年 9月30日現在		2010年 9月期 2010年 9月30日現在	2009年 9月期 2009年 9月30日現在
資産の部			負債の部		
流動資産	11,872	9,359	流動負債	6,287	5,035
現金及び預金	3,099	1,532	買掛金	1,979	1,974
売掛金	7,669	6,733	1年内返済予定の長期借入金	200	200
繰延税金資産	789	658	未払金	1,359	1,123
その他	647	776	未払費用	408	347
貸倒引当金	△333	△340	未払法人税等	1,248	432
固定資産	3,219	3,197	コイン等引当金	869	803
有形固定資産	229	213	その他	220	154
無形固定資産	1,522	1,345	固定負債	544	715
ソフトウェア	1,511	1,338	長期借入金	299	499
その他	11	6	その他	245	215
投資その他の資産	1,467	1,638	負債合計	6,832	5,750
投資有価証券	324	594	純資産の部		
敷金及び保証金	594	593	株主資本	8,125	6,704
繰延税金資産	508	420	資本金	2,562	2,535
その他	50	39	資本剰余金	3,072	3,045
貸倒引当金	△10	△9	利益剰余金	2,580	1,123
			自己株式	△90	—
			評価・換算差額等	19	42
			新株予約権	113	59
			純資産合計	8,259	6,807
① 資産合計	15,091	12,557	負債純資産合計	15,091	12,557

POINT

① 資産合計

資産合計は、前期末に比べ25億33百万円増加し150億91百万円となりました。これは、流動資産においては主に現金及び預金、売掛金の増加により25億12百万円増加し、固定資産において投資有価証券が減少したものの、主にソフトウェア、繰延税金資産の増加により21百万円増加したことによるものです。

② 自己株式

当期の自己株式の取得総額は1億90百万円ですが、99百万円を消却し当期末の残高は90百万円となりました。

③ 純資産

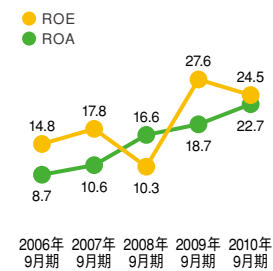
当期末の純資産は、当期純利益として18億24百万円を計上したことにより、自己株式の取得、剰余金の配当を吸収し14億52百万円の増加となりました。

④ ネットキャッシュ*

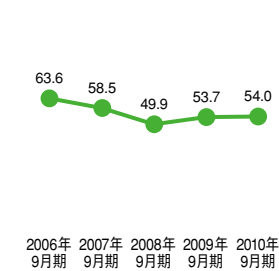
当期末のネットキャッシュは、前期末に比べ17億66百万円増加し25億99百万円となりました。

※ネットキャッシュとは、現金及び預金から有利子負債を引いた数字で、企業の実質的なキャッシュの保有額を意味します。

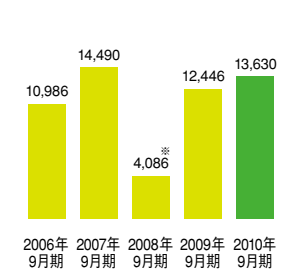
ROA/ROE (単位：%)



自己資本比率 (単位：%)



1株当たり当期純利益 (単位：円)



※2008年4月1日付で1株につき2株の株式分割を実施しました。このため2007年9月期以前は株式分割前の株数で算出しています。

連結損益計算書 (単位：百万円)

	2010年 9月期 自 2009年10月 1日 至 2010年 9月30日	2009年 9月期 自 2008年10月 1日 至 2009年 9月30日
① 売上高	30,836	25,732
売上原価	8,415	7,920
② 売上総利益	22,421	17,812
販売費及び一般管理費	19,289	15,599
③ 営業利益	3,131	2,213
営業外収益	23	18
営業外費用	22	54
経常利益	3,132	2,177
特別利益	110	26
特別損失	188	333
税金等調整前当期純利益	3,054	1,870
法人税、住民税及び事業税	1,434	419
法人税等調整額	△204	△218
④ 当期純利益	1,824	1,669

連結キャッシュ・フロー計算書 (単位：百万円)

	2010年 9月期 自 2009年10月 1日 至 2010年 9月30日	2009年 9月期 自 2008年10月 1日 至 2009年 9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,175	1,740
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,004	△1,081
財務活動によるキャッシュ・フロー	△604	△551
現金及び現金同等物の増減額	1,566	108
現金及び現金同等物の期首残高	1,532	1,442
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	—	△18
現金及び現金同等物の期末残高	3,099	1,532

POINT

① 売上高

健康情報や気象情報を中心に有料会員数が順調に拡大したことにより、売上高は前期比19.8%増の308億36百万円となり、6期連続で過去最高を更新しました。

② 売上総利益

売上総利益は、原価率の低い健康情報やデコレーションメールを中心とした有料会員数の拡大に伴う増収効果により、前期比25.9%増の224億21百万円と大幅な増益となりました。

③ 営業利益

販売費及び一般管理費のうち、主に広告宣伝費や支払手数料、人件費、外注費が増加しましたが、売上総利益の増益で吸収し、営業利益は前期比41.5%増の31億31百万円と大幅な増益となり、5期連続で最高益を更新しました。

④ 当期純利益

固定資産除却損や投資有価証券評価損などの特別損失1億88百万円を計上したものの、税金等調整前当期純利益の増益により前期比9.3%増の18億24百万円となりました。なお、前期は特殊要因として連結子会社である株式会社コミックジェイピーとの合併完了による支払税金の減少がありました。

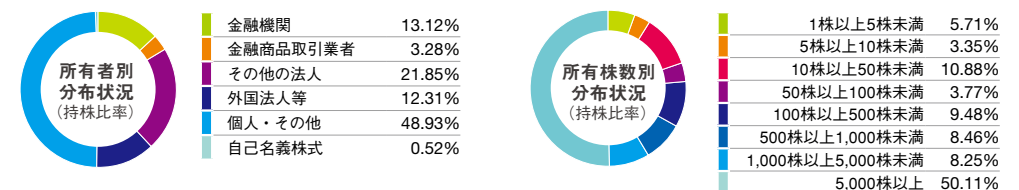
会社概要

商号	株式会社エムティーアイ
設立	1996年8月12日
資本金	2,562百万円 (2010年9月30日現在)
本社所在地	〒163-1435 東京都新宿区西新宿三丁目20番2号 東京オペラシティタワー35F
従業員数(連結)	554名 (2010年9月30日現在)
URL	http://www.mti.co.jp/

株式状況 (2010年9月30日現在)

発行可能株式総数	447,600株
発行済株式総数	134,388株
株主総数	5,292名

株式分布状況 (2010年9月30日現在)



大株主 (2010年9月30日現在)

	持株数(株)	議決権比率
前多俊宏	29,314	21.93%
株式会社ケイ・エム・シー	25,240	18.88%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	7,750	5.80%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	5,038	3.77%
ザチースマンハッタンバンクエヌエイロンドンエスエルオムニバスアカウント(常任代理人 株式会社みずほコーポレート銀行)	2,199	1.64%
株式会社昭文社	1,680	1.26%
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー505041(常任代理人 香港上海銀行東京支店)	1,646	1.23%
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー505223(常任代理人 株式会社みずほコーポレート銀行)	1,629	1.22%
株式会社SBI証券	1,475	1.10%
バンクオブニューヨークメロンエヌエヌブイクライアンツアカウントファンファーレジャパン(常任代理人 株式会社三菱東京UFJ銀行)	1,255	0.94%

グループ会社の概要 (2010年9月30日現在)

株式会社テラモバイル	広告代理店
株式会社フィル	音楽原盤の企画・制作等

役員 (2010年12月23日現在)

代表取締役社長	前多 俊宏
取締役副社長	泉 博史
専務取締役	高橋 次男
常務取締役	大沢 克徳
取締役	清水 義博
取締役	松本 博
取締役	佐々木 隆一
取締役	小名木 正也
常勤監査役	箕浦 勤
監査役	和田 一廣
監査役	中村 好伸
監査役	崎島 一彦

事業年度	10月1日～翌年9月30日
期末配当金受領 株主確定日	9月30日
定時株主総会	12月
株主名簿管理人 特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂 七丁目10番11号 ☎0120-232-711
上場証券取引所	大阪証券取引所 ジャスダック市場
公告方法	電子公告により行う URL http://www.mti.co.jp/koukoku/ (ただし、電子公告によることができない事故、 その他のやむを得ない事由が生じた時には、 日本経済新聞に公告します。)
証券コード	9438

【株式に関する手続きについて】

1. 株主さまの住所変更、配当金の振込みのご指定、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

また、各種お手続き用紙のご請求につきましては、以下のお電話ならびにインターネットにより24時間受付けておりますので、ご利用ください。

TEL ☎0120-244-479
URL <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

※本誌には、当社の将来に関連する記述があります。この前提および将来予測の記述には、経営を取り巻く環境の変化などによる一定のリスクと不確実性が含まれていることに留意ください。

※「iモード」は、株式会社NTTドコモの登録商標です。

※「iPhone」は、Apple inc.の商標です。

当報告書が電子ブック版で ご覧になれます

当報告書は、当社ホームページでも電子ブックの形でご覧になることができます。是非ご利用ください。



<http://www.mti.co.jp/mtireport>

また当社の概要をわかりやすく解説した特設サイト、「5分でわかるエムティーアイ入門」もホームページ上に開設しています。



<http://www.mti.co.jp/about>



この印刷物は環境に考慮し、大豆インキ・水なしオフセット印刷・針金を使用しない製本で制作しています。この用紙費用の一部は「世界の子どものワクチンに日本委員会(JCV)」に寄付されています。